

論文・著書

1993. Fluorescent banding pattern analysis of eight taxa of *Phaseolus* and *Vigna* in relation to their phylogenetic relationships. *Theor. Appl. Genet.* 87: 38-43. (J.Y. Zhang 他と共著)

1993. キク科植物の細胞学的特徴. *プラント* 30号. pp.10-15. 研成社, 東京. 1994. キク属 (分担執筆). *週刊朝日百科「植物の世界」* 2号. pp.50-61. 朝日新聞社, 東京.

1995. Phylogenetic relationships between six species of *Phaseolus* and *Vigna* as determined by RFLP analysis of ribosomal DNA. *Jpn. J. Genet.* 70: 615-625. (J.Y. Zhang 他と共著)

1995. 最近道路法面に発見されるキクタニギクとイワギクについて. *植物地理・分類研究* 43: 124-126. (関太郎他と共著)

1996. A comparative karyotype study in *Hylotelephium sieboldii* var. *ettyuense* and var. *sieboldii*, *Crassulaceae*. *Bull. Bot. Gard. Toyama* 1: 23-33.

1996. エッチュウミセバヤ自生地の現状. *富山県中央植物園研究報告* 1: 47-51. (黒川道と共著) 1996. 富山県に確認されたトウカイコモウセンゴケ. *富山県中央植物園研究報告* 1: 53-56. (吉田めぐみ他と共著)

1997. Cytological studies on chinese plants introduced from Yunnan Province. I. Karyomorphology of some species of *Primula* and *Androsace* (*Primulaceae*). *Bull. Bot. Gard. Toyama* 2: 1-15. (Q.A.Wu 他と共著)

1997. Number of 45S rDNA sites in the two varieties of *Hylotelephium sieboldii* (*Crassulaceae*). *Bull. Bot. Gard. Toyama* 2: 45-50. (M.Mishima 他と共著)

1997. 富山県フロラ資料 (1). *富山県中央植物園研究報告* 2: 67-75. (大原隆明他と共著)

1998. 富山県産水生植物数種の染色体数. *富山の生物* 37: 1-6. (長井真隆と共著) 1998. 氷見市大境産サンインギク個体群の変異. *富山県中央植物園研究報告* 3: 1-16. (竹内基と共著)

1998. アイノコセンニンモの新産地と染色体数. *富山県中央植物園研究報告* 3: 53-56. (長井真隆と共著) 1998. 富山県フロラ資料(2). *富山県中央植物園研究報告* 3: 63-73. (大原隆

明と共著)

1999. 岩手県で発見されたイワギク八倍体とその進化史的意味. 富山県中央植物園研究報告 4: 1-15. (熊谷明彦と共著)

1999. ワカサハマギクの自生地とその現状. 富山県中央植物園研究報告 4: 1-15.

1999. 日本のキク属. RHSJ (英国王立園芸協会日本支部会誌) 10 号. pp. 2-5.

2000. In vitro culture for preservation of triploid Senno (*Lychnis senno* Siebold et Zucc., $2n=36$), a valuable and rare ornamental plant. Bull. Bot. Gard. Toyama 5: 35-43. (T.Godo 他と共著)

2000. A chromosome observation on *Panax japonicus* (Araliaceae) using conventional orcein staining and fluorescent chromosome banding with CMA and DAPI. Bull. Bot. Gard. Toyama 5: 45-51. (H.Kohda 他と共著) 2000. エッチュウミセバヤ、アイノコセンニンモ、サンインギク、トウカイコモウセンゴケ (分担執筆). 鳴橋直弘 (編著) とやま植物物語. シー・エー・ピー, 富山.

2000. ホクリクムヨウランに関する細胞学的知見. 植物地理・分類研究 48: 97-99.

2001. 富山県中央植物園が中国雲南省から導入した植物の和名. 日本植物園協会誌 35: 108-111. (大宮他と共著)

2001. キクとの雑種を含むワカサハマギク個体群の 14 年後の追跡調査. 保全生態学研究 6: 21-27.

2001. 兵庫県の日本海側に見られるノジギクの逸出個体群. 兵庫県植物誌研究会会報 47: 1-2.

2001. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物. 富山県. (分担執筆) 2001. Cytological studies on 31 alpine plants collected in Murodou-daira, Mts. Tateyama, central Japan. Bull. Bot. Gard. Toyama 6: 5-20. (高橋一臣他と共著)

2001. 富山県におけるホクリクムヨウラン (ラン科) の自生地. 富山県中央植物園研究報告 6: 43-46.

2002. ユキバタツバキの三倍体—井口村指定天然記念物「丸山の大ユキバタツバキ」の染色体数調査結果とフィールドワークから. 富山県中央植物園研究報告 7: 31-35. (太田道人と共著)
2002. 各都道府県別の植物自然誌研究の現状 16. 富山県. 植物地理・分類研究 50: 182-183.
2002. 都道府県別植物誌・植物目録編纂状況一覧. 植物地理・分類研究 50: 255-256.
2002. 外来種事例集 ヨモギ属とキク属. 日本生態学会 (編). 外来種ハンドブック. pp. 195. 地人書館. (分担執筆)
2003. Cytological notes on Yunnanese plants I. *Chamaegastrodia shikokiana* (Orchidaceae), a saprophyte new to Yunnan. Bull. Bot. Gard. Toyama 8: 31-35. (雲南省産植物に関する細胞学的知見 I. 雲南省初記録の腐生ラン、ヒメノヤガラ) (Zhonglang Wang & Kaiyun Guan と共著)
2003. Cytological studies on Chinese Begonia (Begoniaceae) I. Chromosome numbers of 17 taxa of Begonia collected in 2001 field studies in Yunnan. Bull. Bot. Gard. Toyama 8: 1-16. (中国産シュウカイドウ属 (シュウカイドウ科) の細胞学的研究 I.
- 2001 年雲南省野外調査で採集されたシュウカイドウ属 17 タクサの染色体数). (Kaiyun Guan, Toshinari Godo, Yuanxue Lu & Jingxiu Li と共著)
2003. 富山県フロラ資料 (7). 富山県中央植物園研究報告 8: 55-69. (大原隆明、高木末吉と共著)
2003. イワギク、チョウセンノギク、ワカサハマギク、ナカガワノギク、ミコシギク. レッドデータプランツ. 山と溪谷社. (分担執筆)
2003. ノリ面緑化現場における外来シマカンギクと在来ノジギクとの自然交雑事例. 保全生態学研究 8: 169-174. (共著)
2004. Chromosome number of *Gastrodia pubilabiata* (Orchidaceae). Bull. Bot. Gard. Toyama 9: 74. (クロヤツシロランの染色体数)

2004. Chromosome numbers of *Eusteralis stellata* and *E. yatabeana* (Lamiaceae), vulnerable plants of Japan. *Journal of Phytogeography and Taxonomy* 52: 179-183. (共著).

2004. Triploid property of *Senno* (*Lychnis senno* Siebold et Zucc., Caryophyllaceae), a traditional ornamental plant conserved in Japan. *Breeding Science* 54: 105-109. (共著).

2004. Somatic embryogenesis and plant regeneration from callus cultures of several species in the genus *Tricyrtis*. *In Vitro Cell. Dev. Plant* 40: 274-278. (共著).

2004. Karyomorphology of *Incarvillea* (Bignoniaceae) and its implications in distribution and taxonomy. *Bot. Journ. Linn. Soc.* 144: 113-121. (共著).

2004. 中国大陸に日本のキクのルーツを求めて. *週刊花百科* 34: 18-19. 2005. 中国雲南省西双版納における *Begonia palmata*

a var. *bowringiana* (紅孩児、シュウカイドウ科) 自生地の記録、および採集された6個体の染色体数. *富山県中央植物園研究報告* 10: 1-8. (魯元学・管開雲・李景秀と共著).

2006. 昆明植物園に生じた *Liparis cathcartii* (二褶羊耳蒜、ラン科) 個体群の観察. *富山県中央植物園研究報告* 11: 17-24. (魯元学・王仲朗・管開雲と共著)

2005. Adventitious shoot regeneration and micropropagation of the Japanese endangered *Hylotelephium sieboldii* (Sweet ex Hook.) H. Ohba and *H. sieboldii* var. *ettyuense* (Tomida) H. Ohba. *Plant Biotechnology* 22: 221-224. (共著)

2005. Analyses of anthocyanidins and anthocyanins in flower petals of *Lychnis senno* and its related species (Caryophyllaceae). *Bull. Facyl. Agric. Niigata Univ.* 58: 35-38. (共著)

2005. A note on the karyotype of *Farfugium japonicum* (Asteraceae). *Journal of Phytogeography and Taxonomy* 53: 191-195. (共著)

2006. 染色体標本作製法. 野外調査での試料調整法. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム—植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.18-19. (分担執筆)

2006. 染色体情報の解析と利用. アナログ画像(写真)取得・解析法. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム-植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.157-159. (分担執筆)
2006. 研究支援情報. 植物育成法 キク. (福井・向井・谷口編)「クロモソーム-植物染色体研究の方法—」. 養賢堂. pp.225-226. (分担執筆)
2006. 富山県フロラ資料 (10) . 富山県中央植物園研究報告 11: 45-64. (大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会と共著)
2007. 富山県フロラ資料(11). 富山県中央植物園研究報告 12: 57-76. (大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会・水上成雄と共著)
2007. 古典園芸植物ツワブキー歴史と現存品種— . 富山県中央植物園研究報告 12: 19-35.(奥野 哉・三位正洋と共著)
2007. 富山県産ラン科植物の記録. 富山の生物 46: 63-64.

学会発表

1995. 地域固有種保全の試み —エッチュウミセバヤの実態調査. (社)日本植物園協会第2回研究発表会.(黒川道と共同発表)
1996. 中国雲南省より導入したサクラソウ類の特性と栽培に関する研究 1. サクラソウ科数種の核形態. (社)日本植物園協会第3回研究発表会.(武全安他と共同発表)
1998. pNN806 反復 DNA から見た栽培ギクの起原. 日本遺伝学会第70回大会.(谷口研至他と共同発表)
1998. 岩手県東北部に産するイワギクの八倍体. 日本植物分類学会第28回大会.(熊谷明彦他と共同発表)
1999. 反復 DNA の多型性から見た栽培ギクの起原. 日本遺伝学会第71回大会.(谷口研至他と共同発表)
1999. キク属における pDA1501 反復 DNA の多様性. 日本遺伝学会第71回大会.(平岡智光他と共同発表)

2000. 生薬「竹節人参」の基原植物トチバニンジン *Panax japonicus* に関する研究 —俗にいう「薩摩人参」について—. 日本薬学会第 120 回年会. (竹内美和々と共同発表)
2000. 富山県中央植物園が中国雲南省から導入した植物の和名. (社) 日本植物園協会第 7 回研究発表会. (黒川道他と共同発表)
2001. Conservation of Orchid at the Botanic Gardens of Toyama. 第 7 回アジア大平洋ラ
ン会議. (神戸他と共同発表)
2002. 日本に現存するセンノウの倍数性. 園芸学会. (共同発表).
2003. 中国産シュウカイドウ属の細胞学的研究 II. *Sect. Platycentrum* 数種の染色体
数. 日本園芸学会秋季大会. (共同発表)
2004. 中国産シュウカイドウ属の細胞学的研究 III. *Begonia rubropunctata* と *B.*
purpureofolia の分類学的取扱い. 日本植物分類学会第 3 回大会. (共同発表)
2005. 中国雲南省における昆明植物園との共同研究. 第 4 回日本植物分類学会大会シンポ
ジウム.
2005. 中国産シュウカイドウ属の細胞学的研究 IV. *Sect. Platycentrum* 32 種の観察結果.
第 4 回日本植物分類学会大会. (共同発表).
2005. 雪国の植物園—日本海側初の総合植物園の経験—. 日本植物学会 69 回大会公開シ
ンポジウム「雪と植物」
- 2005 中国産ベゴニア属の細胞学的研究. 第 14 回染色体コロキウム.(共同発表)
2006. Karyotype Analysis in *Lychnis senno* and its Related Species (Caryophyllaceae).
第 27 回国際園芸学会発表. (共同発表).
2006. 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究 1. ツワブキ野生株の細
胞遺伝学的研究. 染色体学会第 57 回年会口頭発表. (共同発表).
2006. Long-term Embryogenic Callus Cultures as a Source of Tetraploid Plants in the
Liliaceous Ornamental *Tricytis hirta*. 第 27 回国際園芸学会発表. (共同発表).

2006. Somaclonal variation in *Tricyrtis hirta* plants regenerated from 1-year-old embryogenic callus cultures. *Scientia Horticulturae*. 110: 366-371. (共同発表).

2007. カラフトエンビセンノウとツクシマツモト間の種間交雑 (*Lychnis* 'Karafutoenbisenno' × *L. sieboldii*) による雑種作出およびその形質調査. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (共同発表).

2007. 富山県内におけるアヤメ科植物の分布と植生. 富山県生物学会発表. (共同発表).

2007. 3 倍体センノウを用いた種間雑種の作出. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (共同発表).

2007. 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究(第 2 報)ツワブキ園芸品種の人為分類と核 DNA 量. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (共同発表).

2007. 古典園芸植物ツワブキの特性評価と保全、育種に関する研究(第 3 報)ツワブキ園芸品種の細胞遺伝学的研究. 園芸学会平成 19 年度春季大会発表. (共同発表).